



**ITC**  
**JAPAN REGION**

**II**

**Volume 29**  
**February 2011**

## 目 次

### Table of Contents

今期のテーマ .....	2010—2011 Themes	1
ITC 日本リージョン会長メッセージ (日・英) .....	The President's Message 2010—2011	2
委員長からのメッセージ (プログラム・教育)(PREM) .....	Messages from Committees 2010—2011	3
委員長からのメッセージ (資格認証・指名委員会) .....	Messages from Committees 2010—2011	4
上部レベル会則修正について .....	Amendments to the Bylaws	5
ITW 報告 .....	ITW Coordinator	6
ワークショップリーダー .....	Workshop Leaders	7
ワークショップに参加して .....	Attendants	8
写真とインタビュー .....	Photos and Interviews	9
特別寄稿 「ITC の課題—高濱黄太氏」 第 2 弾 .....	Special Contribution, Part II	10
少人数クラブの運営と工夫 .....	How Small Clubs Manage Their Activities	11
世界のクラブから .....	From the Clubs in Other Regions	12
第29回 ITC 日本リージョン年次大会のご案内 .....	Invitation to the 29 <sup>th</sup> Japan Region Annual Conference	13
大会プログラム案内 .....	Guide to Program	14
大会プログラム予定表 .....	Program Plan	15
教育セッション一覧表 .....	Educational Sessions	16
大会準備委員会名簿 .....	Annual Conference Committee	17
大会申し込み要領 .....	Registration	18
大会登録・宿泊申込書 .....	Registration & Reservation Forms	19
「只今 育み中」 カウンシル No.1 ~ No.8 .....	On <i>Hagukumi</i> and Learning through Meetings	21
お知らせ・訂正・心に響くことば .....	Information & Amendments	
ROSTER 訂正・編集後記 .....	Amendments in ROSTER & Message from Editor	
ITC 宣誓& 声明文 .....	ITC Pledge & Mission Statement of Japan Region	

日本リージョン第29期テーマ

2010—2011

Japan Region Theme

— HAGUKUMU —



ITC Theme

“Coach for Success”

成功へのコーチ

## 日本リージョン第29期会長メッセージ

### 聴くことで育む！

ITC 日本リージョン第29期会長 武内 浩子

新しい年が明けました。元旦には皆様のところには何匹のウサギが訪れましたか。人間には口は1つなのに、耳が2つあるのは人の話を良く聴くためだとか。ウサギが長い長い耳を持っているのは？

今期のリージョン活動も早や半ばになりました。いままでやっていたことを変えることで、会員との対話が増えたように思います。切実な本音に耳をかたむけることの大切さを実感しています。

コミュニケーションの基本は対話から始まります。即ち「聴く」事から始まるのではないのでしょうか。他人と向き合うときに大事な事は、相手が言っていることに対して常に「そうだね」とうなずき、どのような理解できないことでもまず受け入れ、なぜその人がそのようなことを思うに至ったのかを考えてみることはないかと思っています。

私にとってのITCの魅力は価値観の違う仲間とどのようにして接点を見つけていくことが出来るのかを模索できることです。価値観が同じ仲間とばかり付き合っていると、井の中の蛙になりがちです。

“傾聴”を心がける1年でありたいと思います。

### Nurture by Listening!

Hiroko Takeuchi

The 29<sup>th</sup> Japan Region President

A new year has begun. How many rabbits visited you on New Year's Days? It is said that the reason why we have two ears whereas we have one mouth is to listen well to what others say. What is the reason for rabbits having long, long ears?

The activities of the Region are already half way through. I have an impression that dialogues with members have increased by changing the way the predecessors did. I realize the importance of lending my ears to the members' heart-felt voices.

The basics of communication begin with a dialogue—more specifically with “listening”. I think what is important when we see face to face with another person is, first of all, to accept with a nod what he/she is saying, even if it seems hard to understand, and to think how he/she has come to think that way.

To me, what is good about ITC is that interacting with fellows who have different sense of values makes me seek how I can find some points in common. If we associate only with fellows with the same sense of values, we will often result in “a frog in the well that does not know the ocean”, in other words, a person who does not know much of the world.

I would like to keep it in mind for the year to try to “listen attentively” to members' voices.

#### リージョン会計変更のお知らせ：

リージョン会計 森川佐智子さんが一身上の都合で辞任されました。「リージョン会則5. 7. 欠員」に則って、後任の会計に柴田裕美さん（千里クラブ）を役員会全員一致で選出したことをご報告いたします。

## 委員長からのメッセージ

### 『出前講座』から「育み中」を

プログラム・教育委員長 沢田 郁

只今、プログラム・教育委員会は『出前講座』のリーダーを派遣中です。今期、リージョン会則が修正され、「リージョン内各レベルのプログラムと教育の向上を援助する」ことが、委員会の重要な任務のひとつに加わりました。

ITC 活動の一番の基本はクラブレベルにあることを考え、クラブの「教育」を担当するリーダーを、委員会の人選により、要望のあるクラブに派遣することを企画しました。リーダーを派遣する折には、同じカウンスル内の他クラブの皆様も一緒にお楽しみ頂きたいと考え、ご案内はカウンスル内の全クラブにお送りすることも企画の一つに含まれています。

あわせて会員相互の交流を願い、リーダーは他カウンスルの会員から人選を行っています。11月に行われた、第1回出前講座（カウンスルNo.4 安芸クラブ）では、一般ゲストを含め、60名を超える多数の皆様方に、ワークショップで楽しいひと時をお過ごし頂きました。

クラブから要請のあるテーマは、「じょうずな聴き方」「豊かな発想、ライティングコンテストにチャレンジ」「知っておかなくてはならない ITC 会則の重要点」「評価」「初歩の議事法」等々、内容も幅広い分野にわたり、これからもバラエティ豊かな楽しい講座の企画がかないそうです。

この出前講座がきっかけとなり、「新たな友との友情を育み中」「新たな学びのワクワク感を育み中」の輪が、ここから大きく広がってゆきますと大変嬉しいと思っています。

## PREM 躍動中

第二副会長 小八木 利子

PREM 委員会では、新しく作成したリーフレットとチラシを第3回リージョンメールに掲載しました。達成カードと共に大いにご活用頂き、ITC の素晴らしさが外部に伝わることを願っています。各カウンスル、クラブでは活発に PREM 活動が行われていますのでご紹介します。

- カウンスル No.2 : 2011年3月26日「三世代スピーチフェスティバル」開催予定  
中学生、親、ITC 会員の三世代が出席、中学生は英語スピーチも
- No.3 : 2010年12月2日、PREM主催「クリスマスパーティー」を開催
- No.4 : カウンスル会合皆勤賞を前期より継続。「他クラブ訪問カード」を作成し、奨励賞、努力賞を新設
- No.5 : 2011年3月28日「PREM 学習会」開催予定
- No.6 : 2011年2月28日会員交流親睦会「雛の会」を開催予定
- 米子クラブ (No.7) : 「会員増強プロジェクト」を立ち上げた。2010年10月8日「地球交響曲第7番」を上映一般公開し、ITC のインフォメーション、「ワンワード」を行い、18日の「米子クラブ説明会」に繋げた。
- 彩玉クラブ (No.8) : 2010年8月28日「男女共同参画の為の研究と実践の交流推進フォーラム」でワークショップを行った。テーマを「リーダーシップ養成にコミュニケーション力を」とし、内容は、①スピーチ（デモンストレーション）②コミュニケーション技術とリーダーシップ養成（教育）③サイコロを使った1分間スピーチ（ワークショップ）で行った。

また、チラシ、リーフレット等を使う「ITC のキャッチフレーズ」を募集したところ、沢山のご応募を戴きました。会員の皆様の熱意と暖かいサポートが PREM 活動を支えています。

## 委員長からのメッセージ

### “あなたの訓練の歩みを称号に！”

資格認証委員会 委員長 高城 良子

10月のITWではSacha Mulder国際資格認証委員長、土川邦子委員から資格認証過程へのサインを受ける会員を何人も目にしました。

皆様、どうぞ資格認証マニュアルをすぐに取り出せるところにおいて、毎例会、会合にご持参下さい。課題を果たしたら積極的にサインを受け、称号を獲得して自己の達成感を得るとともに、ITCだけでなく外部での活動時にも積極的にこの称号を用いITCの紹介に活用しましょう。

各レベル（コース）修了者には以下の称号が与えられます。

レベル1：EC—Effective Communicator 効果的なコミュニケーター

レベル2：PC—Proficient Communicator 上級コミュニケーター

レベル3：SC—Skilled Communicator 熟練したコミュニケーター

レベル4：AC—Accomplished Communicator 熟達したコミュニケーター

レベル5：DC—Distinguished Communicator 卓越したコミュニケーター

資格認証過程は会員の任意参加のプログラムではありますが、カウンスル、クラブ資格認証委員会は、会員の新たな参加を呼びかけ、途中で中断している会員には認証状取得を奨励下さるよう、引き続いてのご協力をお願いします。

### 「ご推薦ください！次期日本リージョンの担い手」

日本リージョン指名委員長 加藤 啓子

役員の指名は通例、どのレベルにおいても指名委員会が行います。この委員会は会長の任命ではなく、選出による3名の委員で構成されます。日本リージョンにおいても、前期リージョン大会で3名の委員が選出され、29期で活動をしています。昨年、10月には役員候補者の推薦を各クラブに要請いたしました。そして、只今、皆さまのクラブから30期役員と指名委員候補者の推薦が届くのを待っております。

指名委員会は手順に則って次年度の役員名簿の作成に努めますが、クラブからの候補者の推薦がなければ、委員会が探すという方法を取らなくてはなりません。

異なるカウンスルから構成された3名の指名委員とはいえ、No.1からNo.8まで83クラブの約1400名の会員の中から資格、経験、協調性並びに会員の支持といった事柄を考慮して候補者を探すことには限界があります。各クラブそして会員の皆さまのご協力なくては責任を持って30期役員候補者名簿の作成をすることは出来ません。

リージョンレベルでの役員を経験することはITCが目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する絶好の機会です。それは、クラブ、カウンスルでは経験出来ない新しい技術や知識を得る学習の機会です。

クラブから候補者を積極的に推薦して下さるようお願いいたします。

## 議会法規役員からのメッセージ

リージョン議会法規役員 中野 知子

### 【上部レベル会則修正案に対するクラブでの採決について】

会則修正には①事前通告と②2/3の表決が必要であるが、上部レベル会則修正案に対する、クラブレベルでの採決については「過半数の表決とすること」とする。これは国際レベルにおける見解でもある。

クラブレベルにおいては修正案の事前通告に対するクラブの意見を図るものであり、その意見をもって派遣員は上部レベルでの審議に臨み、場合によっては新たな意見により、派遣員自身の判断により決しなければならないこともあり得る。今後、議会法規役員の伝達必須事項とする。

### 【みんなの議事法】

なぜITCに議事法が大切なのでしょう？それは私達がITCメンバーとしてより良い組織運営やリーダーシップを学ぶために集まっているからなのです。

議事法の原則 1. 全ての人に対して公正と平等

2. 全ての人に対して礼儀を尽くす
3. 一時一件の審議
4. 多数意見を優先
5. 少数意見の尊重

最小限の時間内に、公正、平等に、お互いを尊重しながらグループの意思の決定を導き出す方法なのです。議事法はまさにコミュニケーションのトレーニングそのものと感じられます。少し実行例について考えてみましょう。

例えばクラブで会則の修正が必要になったり、周年行事をどうするかという問題が出たとします。その場合どうして進めて行けば、皆が納得出来るのでしょうか？

1) 動議の提出：ある事柄に関して「では、こうしたほうが良い」という提案の提出。

2) セCOND：動議を審議としてとりあげることに賛成の意思表示。

役員会や委員会からの議案提出は既に複数以上の多数でその提出が認められているのでセCONDは必要ない。

3) 表決の方法 10通りあるがクラブでよく行われる方法は5種類ではないでしょうか。

1. 口頭（賛成、反対と言う）
2. 挙手
3. 起立
4. 投票
5. 総意（全会一致）

**注** 拍手による表決方法はありません。

いずれの表決の場合もメンバーが結果に疑問を感じたなら「再表決」と言って議長に対し再度、起立などの方法で表決を求めることが出来る。

☆来るリージョン大会は年一度の大掛かりな議事会議が開かれ、会則・常規の修正案が幾つか審議されます。派遣員でなくても意見は述べる事が出来ます。積極的に参加してみましょう。

## 特集：International Training Weekend

### International Training Weekend 2010 のコーディネートを終えて Together we grow, together we succeed

コーディネーター 泉 和子DC, Fellow of ITC

日本に初上陸した国際教育会合 International Training Weekend は2010年10月22日に、神戸ポートピアホテルで約420名の参加者を得て幕を開け、24日には全行程を終了しました。

約150名の委員を抱える25部署の委員会を設置し、無我夢中で準備期間を過ごし、開催中は全ての進行の無事を祈り、閉会後は、その緊張の紐が1ヶ月も解けない程の経験をしたコーディネーターの職務は、私に「経験は不可能を可能にする」という強い心意気を授けてくれました。

余り参考になる事例が見当たらないこの会合の準備はやりがいのあるものでしたが、これぞまさしく無から有を生む、手探りで始めた初体験のコーディネートでした。事例がないという事柄は、国際会合で初めて二ヶ国語を使用すること、今までにない15種ものワークショップが実践されることになったこと、まさかと思うほどの多数の参加者を得たことなどでした。

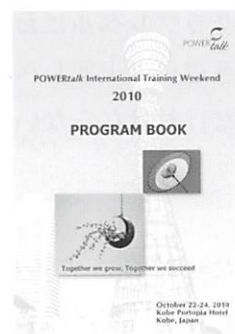
中でも、開催国日本独自の仕事である翻訳や通訳業務は、外部専門家の助けを借りず、全て会員の手によって実行しそれを成し遂げたことは、私達会員の大きな誇りとする処であり、それに多くの時間と労力を使って貢献して下さった方々のご尽力に、深く感謝をいたします。



又、使えるだけのIT機器を使用して、国際会長と合意の元に定めた「会合運営の簡素化」を試み、研修内容をCDに収めて今後「役立つ研修の実践」を実現したことは、多くの会員に寄与したことになったと国際役員会から頂いた評価を、この上もなく嬉しく、嘖みしめています。

参加された日本の皆様が、よく修練されたリーダー方によってなされたどのワークショップを受講されても、きっと納得のゆくものであったと思います。又、この準備の一端を担ってくださった多くの準備委員会の皆様も、またとない経験をご自分のものにして下さったであろうと考える時、今回のこの教育会合の開催の機会をよくも日本が得たものだと、そのことに、私は今大きな満足感を抱いております。

私は、日本と海外の会員が手をつないで、ひとつの目的に向かって楽しく有意義に歩を進めることができる、その陰でお役に立てれば幸いだと思っておりました。そして世界中の皆様へ、この会合からこれぞITCというところを見つけて頂いて、全てをご自分のものにしてお帰り頂きたいと、それが私の願いでもありました。今回皆様がこの会合で得られた多くの知識と経験が、皆様の血となり肉となりますことを願ってやみません。



## ワークショップリーダーを務めて

### “Fun with Kanji” 「漢字を楽しむ」

サンデークラブ会長 柴田 ひさ

ワークショップの内容を漢字と決めた後、先ず、不安に囚われました。何から取り掛かりましょう。暫くは身の回りの全てのものを、何か漢字に繋がらないかという目で眺めていました。凡人社に出かけ、本を探し、ネットサーフィンで漢字と親しみ、日本語の先生の助言を仰ぎながら、様々な立場の外国人との会話の中で漢字に対する反応を探りました。日常出くわす漢字関連の話題をノートにメモしたり、新聞を切り抜いたりしているうちに、暑い夏に突入。足踏み状態の間に材料が熟成しました。日本人会員には周知の内容なので、外国人、それも留学生として日本語を学ぶ学生ではなく、ITW に来日し、その日の朝、気が向けば参加する会員を聴衆として想定しました。小道具として、手ぬぐいが手頃と思い、出だしに使いました。人数や参加者の顔ぶれが予測出来なかったものの、3人の会員がプログラムリーダー、通訳、タイマーとしてワークショップに同席だったので、心強く、臨機応変のフォローアップをしてもらえました。直後に貰った評価を参考に、内容を少し変え、クラブで行う予定です。遠隔地の為、出席がかなわなかったクラブ会員からの評価も楽しみです。今、振り返り、機会を頂いたことに感謝です。アニタの全体会合でのスピーチにあったマザーテレサの母親の助言、「やるからには喜んで引き受けなさい、さもなければやらないこと」。正にこれが会員と共有出来る心境です。



### “Just Say Know J in j” 「ジョークを通じた文化の違い」

東葛クラブ 石川 恵悟



ITW、それは実にエキサイティングな体験でした。「外国人50人前後を想定した、英語のワークショップを」との依頼を受け用意していったところ、参加人数は110名に達し、圧倒的 majority が日本人会員という状況に直面。開始直後の“?”が蔓延する空気に、少なからず戸惑いました。後で伺いましたが、「日本語と英語の両方で話すと思っていた」「日本語で説明があり、それが英語に通訳されると聞いていた」という方がかなりいらっしゃったんですね・・・納得。

予期せぬ“アウェイ状態”で始まりましたが、そこはさすが相互理解を得意とする ITC。しだいに日本人参加者の皆さんとの呼吸も合い、グループワークも活発になっていきました。後半はジョーク講座にふさわしい、笑いに溢れた雰囲気になったのではないのでしょうか。何より嬉しかったのは、あんなにも多くの方が次々と手を挙げて発言して下さったことです。凹みかけた気分がどれだけ救われたことか・・・深謝。

今回の内容はあくまで外国からのお客様向けでした。次回は是非“日本語の、日本人による、日本人のための〇〇講座”を遂行したいと思います。ご興味のあるクラブはお声掛けください。私にとってはやりたいことがたくさん増えた ITW でした・・・満足そして意欲。

## ワークショップに参加して

### ワークショップ・プログラムリーダーとしての苦闘から得た教訓

梅田クラブ 鎮守 康栄

2010年猛暑の夏、ITW ワークショップ14のプログラムリーダーを拝命、同じ通訳グループの二人と協力して、10月24日当日迄に、日・英両語の配布物等の準備を完了。オランダから来たリーダー、マーリンとツルーディとの顔合わせ、打ち合わせもバッチリ。前日の経験を参考に、急場は通訳者の一人 Ms 落語に笑いで誤魔化して貰うことにします。タイマー Ms 落語が「チリンチリン」と口ベルを鳴らして開会時間を知らせ、会場は急に和やかに。海外から持参の英語だけのスライドに代えて、買ったばかりの CD の英・日のスライドを映写し、一番シャイそうな 3 人目の通訳者が、しっかりと、歯切れの良い日本語で通訳し、全体を引き締めてくれました。

担当はパワートークショートコースをまとめた「実践的な話し方」で、スライドに沿って実演などを入れたリーダーの解説を聞き、配布の日・英の「8つのわらべうた」を使って、各自プレゼン練習をします。参加者が次々歌ってくれ、楽しく和やかなうちにワークショップは終わりました。このワークショップの CD にはリーダーの説明文も英・日両方入っていて、これを活用すれば、すぐにでもパワートークショートコースのリーダーになれそうです。皆様お試し下さい！

#### 今回ITWに関わって学んだ教訓二つ

1. 不可能と思えても火事場の馬鹿力が出てきて、一段上の事もアタックだけは出来る。
2. プログラム委員長や、通訳委員長のような優しげで、粘り強い指導者は、有難いが、怖い。

### —— スタートは深呼吸から ——

神戸クラブ 大谷 差智子

大会 3 日目のワークショップ「まさかのときの対処法」では、会員が日常体験する突然の出来事への対処について学びました。

予期せぬ事態を受け入れるまでに段階があること。初めは事実を否定し孤独になる、自分に対して又周りに対しても怒りを感じ、悩み、絶望をへてようやく現実を受け入れるようになるのです。

参加者の中から発表されたのは・・・ホテルの宿泊手続きでのハプニング、ドライブしていてダムを越える上りの坂道で車が止まったこと、大事なハンドバッグの紛失、会場に来る前の出来事、そして海釣りに行ったときボートに乗ろうとして海に落ちた経験などでした。

パニックに陥った場合、まず深呼吸をしてからリストを作り何から手をつけるかを決める。そして実際に行動を起こすこと。素直な気持ちになって、家族や友人に助けを求めるとより簡単にすばやく問題が解決できると提言しています。

備えあれば憂いなし、いろいろな事態に対処することでたくましくなるチャンスでもあるのです。何が起こってもこわくないですね。

## 🎤🎤🎤 インタビュー 🎤🎤🎤



オーストラリアからよ。  
初めての日本だけど、  
困ったこと何もないわ。  
来て良かった！

初来日ですが、想像した  
とおりの日本です。  
地下が広すぎてウロウ  
ロ。東京スカイツワー  
を見学、お蕎麦に初挑  
戦しました。



パワートークと比較  
しながら、ボディ  
ランゲージを使った  
効果的な話し方を学  
びました。



4回目の日本だけど  
日本食が美味しくて！  
トイレの使い方がわ  
からなくて、ちょっ  
とこまったわ。



初めての来日ですが、  
お食事は美味し  
かったし、困ったことは  
ありません。

初めての日本で、アジ  
アの人は同じ顔をして  
いると思っていたわ。  
違うことに気づきまし  
た。駅などの標識はと  
ても分かりやすかった  
です。



3度目の来日です。  
いろいろな出会いが  
あり、楽しくコミュ  
ニケーションできま  
した。広島の厳島神  
社はすばらしかった  
です。



ワークショップ#10  
に参加、楽しく為に  
なりました。お食  
事がちょっと・・・



2回目の来日だけど、  
服装や髪形が随分変わ  
ったね。皆おしゃれです  
ね～。京都や東京も楽  
しましたよ。

初めて来ました。思っ  
ていたより皆さん親  
しみやすく、困ったこと  
もなく、食事も美味し  
かったです。女性の服  
装がおしゃれなのに本  
当に驚きました。



## ITCの課題と「学習する組織」について（第2回）

～「仕組み・構造」そして「慣性」～

高濱 黄太

日本リージョン発足からこれまでの会員数の推移を確認しておきましょう。日本リージョンは1982年に発足。発足から7年後の1988年、現在の8カウンスル体制となります。最初の7年間の会員数の伸びは年平均約19%。7年で会員数は3倍近くに達します。その後もさらに会員数は増加。1999年、会員数はピークを迎えます。しかし、2000年以降、ITCの会員数は減少傾向となり、現在の会員数の規模は、1989年～90年頃の水準と同レベルとなっています。

	会員数増加率 (年平均)	
82-88年（1-7期）	18.8%	成長期
89-94年（8-13期）	7.5%	
95-00年（14-20期）	0.9%	成熟期
01-08年（21-27期）	-5.0%	後退期
09-10年（28-29期）	5.2%	

さて、1クラブの会員数上限が30名の場合、1クラブあたりの平均人数は24～26名程度が望ましいと考えます。そこで各年のリージョン全体の会員数÷24を理論上のクラブ数（以下、理論値。赤で表示）とし、各年の実クラブ数（青で表示）との比較をグラフで示しました。（右ページの図）この推移をみると、下記のようなことがわかります。

- ① 成長期には理論値より、実クラブ数が少ない。（クラブ数過少）
- ② 成熟期には、ほぼ理論値と実クラブ数が一致。（クラブ数適正）
- ③ 後退期（リージョン全体の会員数が減少）は、実クラブ数は横ばい。1クラブ当たりの会員数が減少している。（理論値と比較して実クラブ数が過大）

### ～事実から推察される ITC に内在する組織的な課題～

こうした事実は、ITC での下記のような課題を示唆している可能性があります。

- ① 成長期にクラブやカウンスルを分割し、増やす仕組み（規約、慣例、組織風土）があるが、後退期にクラブやカウンスルを統合し、クラブ数やクラブ毎の会員数を適正化する仕組み（規約、慣例、組織風土）や機能は不足している。
- ② 日本リージョン全体の課題を検証し、意思決定・マネジメントを行う仕組みが乏しい。

### ～事実と仕組みから考える ITC の課題構造～

これまでの検証結果を踏まえて、ITC が直面する問題の構造を考えると以下ようになります。

#### ◎クラブを統合・減少させる仕組みはないが、クラブを増やす仕組みがある。

→会員数の少ない、小さなクラブが増える一方、新しく大きなクラブが誕生する。小さなクラブは、新人の勧誘も困難で、会員ひとり一人の負担も大きく、さらに小さくなりやすい。

#### ◎組織全体のマネジメント・課題の検証を行う機能が乏しい。

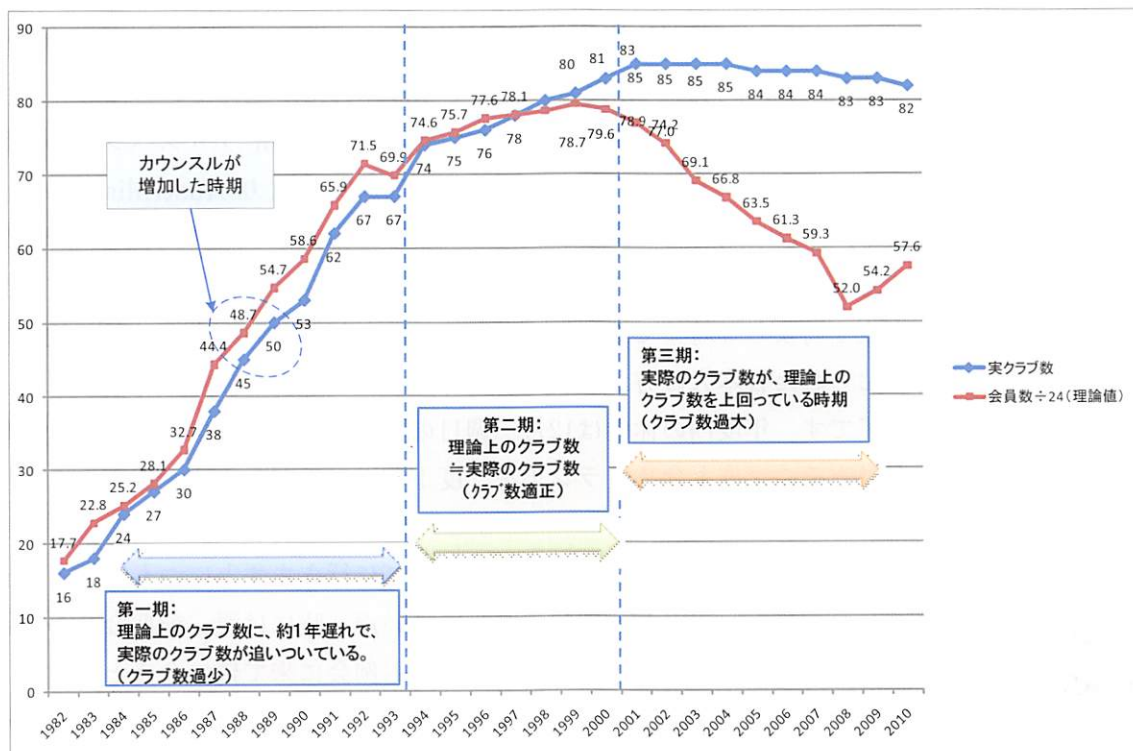
→リージョン全体で事実を収集・課題を検証し、必要なルール変更を行うことが難しい。

ひとり一人の漠然とした危機意識はあっても、組織全体の取り組みにはつながりにくい。

今回のテーマ「学習する組織」という言葉は、マサチューセッツ工科大学のピーター・センゲ教授の著作から引用しています。彼は「人が自覚する以上に、出来事（目の前に起こる問題そのもの）より、

システム（＝構造）が危機を生む場合のほうが多い」とし、組織の持つ構造から課題を考えることの重要性を提唱しています。しかし、現実には構造とその構造が持つ課題が把握できても、その構造を変える行動を起こすのは難しいのです。なぜならば、多くの場合、私たちは「慣れ親しんだ考え方やモノの見方（＝慣性）に囚われ、そのために慣れ親しんだ行動を繰り返す」からです。

最終回の次回、今後のITCの対応はどうあるべきか、そして「学習する組織とITC」について考えてみたいと思います。（筆者：第28期リージョン大会ワークショップ講師）



## 少人数クラブの運営と工夫

葦崎クラブ会長 広島 伸枝

私共のクラブは、葦崎市と姉妹都市の米国カリフォルニア州にあるフェアフィールド市にお住まいの喜恵子ウイタカさんが、「女性に力を付けるために」と、葦崎市長にITCを薦めて誕生したクラブです。20数名で発足したクラブも20年を迎え現在会員7名となりましたが、この20年間は、男女共同参画推進の時期とも重なり、役職に就いて大勢の前で話したり、コーディネーターや議長をしたりする際にITCで学んだことが、非常に役立ったとの話をよく聞きます。

7名の会員のうち6名が役員なので、役員ではない会員が取り残された感を持たないように、プログラムやアジェンダ作りを分担してもらっています。これは役員の負担軽減にもなっております。プログラムは、役員会において全員で具体的に細かく検討しておきますので、例会で一人何役も役割を与えられてもスムーズに進行し、会員のレベルが大体同じという事とも相まって毎回充実した内容のプログラムを楽しんでおります。

また、役員会と例会は、ほぼ同じ顔ぶれですが、役員会は茶菓を楽しみながら和気藹藹とリラックスして会を進め、例会ではきちんとマニュアルどおり緊張した時間を過ごす、というようにメリハリをもたせております。

## 世界のクラブから



Australia Division 4 Council 7 POWERtalk Brisbane Central Club  
Club Treasurer Noriko Tsuji (辻 典子)

### “With a big family”

日本の皆様、2007年 POWERtalk ITC 世界大会はどこで開催されたか覚えていらっしゃいますか？ 現在私が住まい致しておりますオーストラリア クイーンズランド州 ブリスベンにて開催されました。ご参加なされた方は思い出されましたか？ 私は2008年より Australia Division 4 Council 7、ブリスベ市内にあります POWERtalk Brisbane Central Club に所属しております。

このクラブは1967年4月に創設され、現在チャーターメンバーを含む12人のメンバーにて例会を毎月第二、第四火曜日、夜7時より9時まで Grange Library にて行っております。私の他にこちらの大学で教鞭をとっておられた日本人の方がお一人いらっしゃいます。こちらの年度は日本と違い8月に始まり7月で終了です。年度内の休会は12月二週目のクリスマス例会を終えてから2月までです。この休会中に会員とその家族も含めてランチを一度土曜日にいたします。我が夫も参加いたしましたメンバーとの交流を深めております。



例会日、クラブに行きますといつも笑顔、家族の話題、そして笑い声、時には涙、前期会長が「どんなに疲れていても例会に来て皆に会うとホッとします。このクラブは私の家族と同様です」とスピーチなされたことがありました。私も同感です。このようなフレンドリーでアットホームなクラブですが、例会が始まりますとさすが歴史のある ITC クラブ、きりりと引き締まります。

例会は日本同様、ビジネス、プログラムの順で行われておりましたが、昨年度よりプログラムを先にいたしビジネスを後にしております。これはゲストで参加なさる方のことを考え変更になりました。このクラブも每期会員数が減ってきており、どうにか会員を増やしましょうと、ショートコースを行ったり、雑誌に POWERtalk を紹介したりと、とても積極的に行動をしております。

この5月 Australia Region 大会にて、優秀なクラブに贈られます The Alex Applebaum Award を頂戴いたし、皆大感激でした。

また私が会員になりましてから、日本で所属しておりましたひろしまクラブとシスタークラブとなり例会の情報交換もいたしております。この10月には日本神戸研修にこちらのクラブより私を含め3人参加致します。その折、ひろしまクラブの例会に出席する予定も立てております。

日本の皆様、是非このアットホーム、そして ITC パワー一杯の POWERtalk Brisbane Central Club をお尋ねください。12人の家族が素晴らしい笑顔で皆様を迎えてくれます。



## 第29回日本リージョン年次大会ご案内

Invitation to the 29<sup>th</sup> Japan Region Annual Conference

大会テーマ 「舫い（もやい）をたしかめて」

“Sailing the Ship of Teamwork”

開催日：2011年6月1日(水)・2日(木)

場 所：神戸ポートピアホテル



大会コーディネーター

杉谷 和代（イースト神戸）

コ・コーディネーター

南部紀代美（阪神）

第29期日本リージョン年次大会は2日間大会として9年ぶりに神戸ポートピアホテルにおいて開催いたします。緑濃き六甲の山並み、目映さを増しはじめた海の光、たそがれとともに聞こえるジャズの音色。この魅力あふれる神戸へ、リージョン大会へお出かけください。

会員が今期中に育んだ成果の確認、一年ぶりの会員同士の再会、さらには来期にしっかりと引き継ぐ場として有意義な楽しいリージョン大会を目指しております。

“神戸港に舫う船のとも綱のように、メンバーお一人お一人の気持ちとしっかりと繋がりたい”そんな想いを「舫い（もやい）をたしかめて」というテーマに込めました。大会に出席いただく皆様と一体となれるような温かな雰囲気 of 2日間を準備委員会一同、一生懸命すすめてまいります。

どうぞ皆様方のご協力とお一人でも多くのご参加を期待いたしております。

**Kobe beckons**—the Rokko Mountain’s lush greenery, the blazing sea, and the sounds of Jazz at twilight. And now, after an interval of 9 years, the 29<sup>th</sup> Japan Region Conference is happening. We hope you can join us for all the fun.

The Conference will be held for two days on June 1(Wed)・2(Thu), 2011 at Kobe Portopia Hotel. We hope the Conference will be both meaningful and pleasant, helping everyone to share and reflect on what they’ve learned during this term while meeting again after one year interval and getting the next term taken over.

“Sailing the Ship of Teamwork”, the Conference theme, describes the strong connections we hope to establish with every member attending the Conference, connections as strong as the moorings of the ships at Kobe Bay.

The preparation committee members will be working hard to make the conference friendly and warm-hearted to bring all attendees together for a fantastic conference. We sincerely hope for your cooperation and attendance at what promises to be an event to remember.

## 第29回日本リージョン年次大会プログラムのご案内

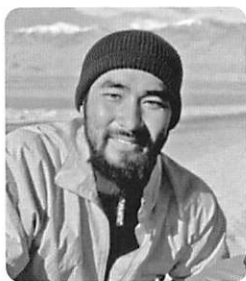
第一副会長/プログラム・教育委員長 沢田 郁

今回のリージョン大会は、2日間の日程で開催されます。

1日目の教育セッションは、視野を広げ、幅広い分野の中から、知恵をしばり工夫を重ねて、それぞれ趣の異なった5つのセッションを企画いたしました。

2日目の講演では、夢を持つことの意味、そして、その果てしない道なりに踏み出す意味を、一緒にお考え頂きたいと思います。国際都市、神戸の地で開催されます大会において、会員の皆さまお一人お一人の心の中に、グローバルな、数々の「育む」思いを实らせて頂けますことを願いつつ、委員会は準備を進めて参ります。

講演：2011年6月2日(木) 10:20～11:50



株式会社ミキハウス <sup>さか</sup> <sup>もと</sup> <sup>たつ</sup>  
**坂本達氏**

「やった！自転車世界一周 4年3ヶ月の夢」

～生かされてきたことへの感謝を込めて～

勤務先の社長を説得し、4年3ヶ月の自転車世界一周の夢を実現された坂本氏は、帰国後は勤務の傍ら著作物の印税で、お世話になった方たちへ井戸掘り、診療所や学校建設などの「恩返しプロジェクト」を実行中です。

夢を持つことの大切さ、感謝の気持ち、コミュニケーションのヒントなどを、世界中の感動的なスライドを交えてお話して頂きます。

### <プロフィール>

1968年 東京生まれ 7歳から11歳まで父親の仕事の関係でフランスに暮らす。

そこで見たツール・ド・フランス（世界最大の自転車レース）に魅せられ、自転車の虜に。

1992年 早稲田大学政治経済学部卒業、株式会社 ミキハウスに入社。

1995年9月～1999年末までの4年3ヶ月間、有給休暇で自転車世界一周。

2004年 内閣府主催 第31回「東南アジア青年の船」ナショナルリーダーとして参加。

2007年 NHKハイビジョン特集「地球と出会う 体感！エコツアー」にメインキャストとして出演。

2009年 『ファウストA.G. アワード 2009』 社会貢献活動賞を受賞。

現在は勤務の傍ら学校を中心に年間100回近くの講演活動を続けている。

著書：『やった。』～4年3ヶ月も有給休暇をもらって世界一周5万5千キロを自転車で走ってきちゃった男～ 他『夢 その先に見えるもの』ドキュメンタリーDVDなど。

# 第29回日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 29<sup>th</sup> Annual Conference Program Plan

神戸 ポートピアホテル  
Kobe Portopia Hotel

大会前日 5月31日(火) May 31(Tues.)

10:30~12:10	カウンスル運営研修会受付	Registration for CMT
11:00~12:10	TPP (日本語)	Training Power Pack (Japanese)
12:20~14:00	CMT (昼食を含む)	Council Management Training (Lunch Included)
14:10~15:40	ワークショップ	Workshop
15:50~17:00	TPP (英語)	Training Power Pack (English)

大会1日目 6月1日(水) June 1(Wed.)

8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:30~ 9:45	登録受付	Registration
9:00~ 9:45	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00~10:50	入場、開会式	Opening Ceremony
10:55~12:10	議事会議・選挙	Business & Election
12:10~13:00	昼 食	Lunch
12:30~13:00	登録受付	Registration
13:10~15:20	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
15:20~	選挙結果発表	Election Report
15:30~16:40	教育セッション	Training Sessions
17:40~18:00	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00	晩餐会開会	Opening
18:20~19:50	晩 餐	Banquet
19:50~20:20	役員就任式	Installation
20:20~21:00	エンターテイメント	Entertainment
21:00	閉会	Adjournment

大会2日目 6月2日(木) June 2(Thur.)

8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:30~ 9:00	登録受付	Registration
9:00~10:00	議事会議	Business Session
10:00~10:20	休 憩	Break
10:20~11:50	講 演	Lecture
12:00~12:50	昼 食	Lunch
13:00~15:20	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30~16:30	閉会式 表彰・報告・案内	Adjournment Awards • Reports
17:00~18:30	評価 リージョン運営研修会	Evaluation Region Management Training

# 教育セッション一覧表

6月1日(水) 15:30~16:40

講師紹介：①プロフィール ②内容

<p><b>A</b> 「版画を楽しみませんか」</p>  <p>本庄 正彦 氏</p>	<p>①木版画家。京都教育大学教育学部美術科卒業。木版画家井堂雅夫氏に師事。日本版画協会準会員。NHK京都文化センター木版画教室講師。京都新聞文化センター講師。日本版画協会展入選等、数々の賞を受賞。</p> <p>②多色刷り版画を楽しんでみませんか？ 浮世絵で知られる木版画の世界。日本の伝統芸術である多色刷り木版画の素晴らしさとは？ どんなお話が伺えるのでしょうか・・・楽しみです。 本庄先生は、日本の伝統木版技法を踏襲しながら、絶えず新しい表現を加え、多色摺木版画の草花は、年々新鮮な印象を与えます。先生の版木をお借りし、染料を載せて頂き、参加者は版木に画紙を置きパレンで刷り取り完成させます。参加者全員が実演という訳には参りませんが、実際に見る事、聴くことも宝物になるでしょう。(定員50名)</p>
<p><b>B</b> 「アイルランドの音色」</p>  <p>守安 功・雅子 夫妻</p>	<p>①守安氏(アイリッシュ・フルート、ホイッスル演奏家)桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒、同研究科終了。江戸里神楽四代目家元若山胤雄に日本の笛と太鼓を師事。1987年渡欧、各地で日本の伝統音楽、現代音楽についてのレクチャーや、リコーダー・リサイタルを行う。国立音楽大学、桐朋学園芸術短期大学講師を経て、現在アイルランド音楽の演奏と研究に専念。雅子夫人(アイリッシュ・ハープ、コンサーティーナ、パウロン演奏家)ご夫妻は毎年3分の1をアイルランドに滞在し、さまざまな地方の演奏家から教えを受け、その活動はドキュメンタリーとして、アイルランド国営放送で放映された。</p> <p>②アイルランドについて様々なお話や、楽器とその音色もご紹介頂きながら、ご夫妻の生演奏をお楽しみください。</p>
<p><b>C</b> 「先端医療の功罪」</p>  <p>松田 真理子 氏</p>	<p>①神戸市に生まれる。聖心女子大学付属 小林聖心女子学院(小、中、高)。早稲田大学卒業。三菱商事KK、西村総合法律事務所勤務を経て臨床心理学を学ぶために京都文教大学に編入学し、2005年同大学大学院博士後期課程修了(臨床心理学博士)。現在京都文教大学臨床心理学部准教授。</p> <p>②昨今、世界中が注目しているES(胚性幹)細胞やiPS(人工多能性幹)細胞、サイボーグ技術などを中心とする先端医療の内容を具体的に教えていただきますか？私達はどこまで知っているのでしょうか？現代の先端医療がもたらす功と罪の面を松田先生に伺いましょう。私たちが想像している以上に、現代医療の進歩は著しいが、その研究が本来の人間性を侵すものでないと言い切れるか考えてみる必要があると思います。</p>
<p><b>D</b> 「『京町家』の危機」 ～これから何をすべきか考える～</p>  <p>なるかわ けいいちろう 生川 慶一郎 氏</p>	<p>①一級建築士。大阪大学大学院建築工学博士修得。京都大学大学院建築学専攻特定研究員。財団法人京都市景観・まちづくりセンターに在籍し、コーディネーターとして、主に京町家の保全・再生を担当。</p> <p>②京都の象徴ともいえる京町家は、現在年間500軒のペースで取り壊されています。この危機ともいえる状況は、単に京都の町並みが変わってしまうという外観的景観だけでなく、そこに受け継がれてきた生活文化(しつらえ)が衰退していくという事でもあるのです。 京町家の実情を知ると共に、失われつつある古の京の都の生活を垣間見たいと思いませんか？ 現在京町家の保全・再生の現場では女性の活躍が目覚ましくこれからの担い手としての女性の存在は必要不可欠です。私達も何か出来ることはないのでしょうか・・・一緒に考えてみたいと思います。</p>
<p><b>E</b> 「スピーチの作成」</p>  <p>岩佐 圭子 会員</p>	<p>① ITC 会員歴 33年 東京クラブチャーター会員</p> <p>②スピーチには「構成の基本形・4セクション」があります。この基本形は、「2分半」という一番短い形のスピーチでも、1～2時間という長いスピーチでも変わりません。スピーチ構成の基本を忘れず、自分の言いたいことをスピーチで的確に表現できるようになりましょう。 参加される方には、あらかじめいくつかの論題をお知らせして、2～3分のスピーチの内容を考えておいて頂きます。評価を受けながら、今まで以上に明確に自分の意見を相手に伝える技術を学びましょう。 これで私もスピーチの達人！！</p>

# ITC 第29回日本リジョ ン年次大会準備委員会名簿

2011年6月1日(水) 2日(木)

大会コーディネーター 杉谷 和代  
コ・コーディネーター 南部紀代美

委員会	委員長 (クラブ)	委 員 (クラブ)
大会会計	井上 明子 (甲 南)	中村 記子 (六 甲)
登 録	鈴江 恵 (西 宮)	大森 敏恵 (西 宮)
宿 泊	西村 尋子 (舞 子)	上西 弥生 (舞 子)
食 事	喜多 邦子 (六 甲)	立花 眞琴 (神 戸) 三宅 裕子 (六 甲) 久原 道子 (しらさぎ) 山崎津多子(クリスタル榊) 橋本 榮子 (城 北)
会場・備品	阿藤知津子 (宝 塚)	田中やよい (宝 塚) 饗場嗣祈子 (御 影) 岡本 淳子 (姫 路) 濱田 澄子 (ポ ート榊)
デコレーション	正明 裕子 (御 影)	森谷スミ子 (六 甲) 梶木 博子 (御 影) 依藤 蒼子 (御 影) 南野 利江 (御 影) 林 美代子 (城 北)
キ ッ ト (名札・リボン)	小林 聖子 (姫 路)	山本智恵子 (姫 路) 中島 薫子 (姫 路) 柴原 妙子 (しらさぎ) 石田 眞理 (しらさぎ) 玉田知雅子 (しらさぎ)
儀 典	小河フク子 (舞 子)	瓜生原稔子 (甲 南) 竹内 邦子 (姫 路) 清水 貴子 (姫 路) 安永 貴駒 (尼 崎) 森下 信代 (しらさぎ) 岡田 恭子 (淡 路)
ホスピタリティー	加茂巳都里 (淡 路)	井本 恵子 (淡 路) 國澤真紀子 (淡 路) 長尾 順子 (淡 路) 大歳 晴美 (淡 路)
イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン	則末美都子 (三 田)	井上久美子 (阪 神) 福田田鶴子 (三 田) 西田加代子 (三 田) 大西奈香子 (三 田) 清水 陽子 (三 田) 福井まさよ (三 田) 柏原加代子 (三 田)
V I P	戸塚 幸 (イ-スト榊)	横田佳世子 (イ-スト榊) 青木千都子 (御 影)
ペ ー ジ	土肥 敦子 (千 里)	石崎 郁子 (イ-スト榊) 田中 和美 (大 阪) 白樫 直美 (梅 田) 谷地 美幸 (千 里) 中村 朱李 (千 里) 田中 征子 (堺 東) 縄田美津枝 (堺 東) 藤江久美子 (徳 島) 南 千絵 (阿 波)
広 報	飼原 和子 (六 甲)	中川 周子 (豊 中)
受 付	太田 容子 (甲 南)	朝田美恵子 (阪 神) 岩田 洋子 (甲 南) 後藤 蓉子 (甲 南) 加藤 啓子 (甲 南) 播磨由美子 (甲 南) 酢谷 道子 (甲 南) 綿岡テレサ (甲 南) 若林 裕子 (甲 南) 鳩田佳緒理 (甲 南) 高井 和代 (甲 南) 赤松奈緒子 (宝 塚) 角田 亘子 (御 影)
エンターテインメント	浅井 淑子 (甲 南)	藤木 桂子 (イ-スト榊)



## 只今育み中・カウンスル No.1



### ときめき探しの旅で「自分育て」を

会長 黒柳 美紀子

「グループの発展は個々のメンバーの進歩の集計であり、グループの成長は個々を向上させる」とホワイト女史は言います。グループの中で学ぶ私たちにとって、大きな拠所となる珠玉のメッセージです。リージョンテーマに当てはめるならば、個々が自身を育むことに力を尽くすならば、グループもまた大きく育まれるということでしょうか。仲間から、グループから、大きな恩恵や刺激を受けながら、まずは自分自身を高める努力が必要です。いわば「自分育て」をすることがグループへの、つまるところ社会への貢献であり、創始者の志にかなうことなのです。

今期わがカウンスルは「ときめき探しの旅、始めませんか」をキャッチフレーズに、他クラブ探訪を奨励しています。そこで、「自分育て」をこの旅に託してはいかがでしょうか。12のクラブは12の個性を誇り、どのクラブも実に魅力的。この多様性こそカウンスルのパワーです。いつもと違う空気の中で、いつもと違う何かに出会う。知らなかったことに出会い、もっと知りたいと願う。知る喜びにときめく瞬間は、学ぶ意欲がかきたてられる瞬間でもあります。ときめき探しの旅が「自分育て」の糧になることを心から期待しています。



### 錦織りのように…

錦クラブ会長 片桐 寛子

「錦」という名前は、私たちのクラブにピッタリだと、私はいつも思っています。キラキラと輝く華やかな色、しっとりと落ち着いた色、明るい元気な色、静かな色、さまざまな色と材質の糸が複雑に織り込まれて、一枚の錦織りになっているように、錦クラブも多種多様な個性と能力の持ち主である会員が、それぞれに持ち味を出し合って、調和のとれたクラブに成長して来ました。34期目、会員は28名です。

「頑張る」クラブであるのが、特徴の一つです。家族、本人のいろいろな問題をかかえながらも、いざとなると、一人一人が最大限の力を発揮して「頑張っちゃう」のです。その代表的な活動の一つが「錦座」です。熱意あふれるリーダーのもと、音響効果・衣装・照明・翻訳・連絡事務など、特性を結集し、協力しあって、猛練習を重ね、とうとうこの10月にはインターナショナル トレーニング ウィークエンドの前夜祭に、第8回公演として「狂言 釣り女」を上演いたしました。会員全員の応援にもおおいに支えられました。これまでのところ、会員の定着性もよく、会合の出席率も良好です。何より、会員同士があたたかな思いやりで結びついている心地よさがあります。これからも“高齢化”に負けず、マンネリに陥ることなく、錦織りがすり切れないようにこの状態を保って行けたらと願っております。

## 只今育み中・カウンスル No.2



### 「只今育み中！地域とともに」

会員委員長 西本 敬子

カウンスル No.2 では今期、新会員獲得のため、何か新企画をと考え、「三世代スピーチフェスティバル」を川西市のみつなかホールにおいて、2011年3月26日(土) に行うことに致しました。私たちはここ数十年、品格を求めて言葉によるコミュニケーションを学び続けてまいりましたが、ただ ITC の中に閉じこもり、わが身のために、ITC のために、尽くしてまいりました。そろそろ地域にお返しして、わたしたちがいままで培い育んできたことを地域の若い方々に伝えていくのもよろしいのではないのでしょうか。齢を重ねるうちに、限界と継続に疑問を感じ、若手の新会員獲得を切望し、伝えていくことの重要性を感じるようになりました。

今回、学校にお話をもってまいりましたら、すぐ乗ってくださり、「そういうスピーチコンテストをしてほしかったんだ」と校長にいわれ、これは動かなくてとはと、教育委員会へ足を運び、会場も市の手頃なところをお借りでき、連合PTAにも声をかけ、着々と地域に根付きはじめました。

こうして、ITC の基本であるスピーチを中心に中学生・その親・ITC 会員の三世代のスピーチの競演で交流することにより、若手会員の獲得、地域への貢献もできるのではないのでしょうか。中学生からスピーチに興味を持ち、その親30代～40代の会員が増えれば、会が活気づき若手クラブの新設も可能かも・・・この「ウエーブ」が日本中に広がることを願い地域との交流を只今育み中！



### 「Workshop—My Room ただいまセッセと育み中」

イースト神戸クラブ プログラム委員長 横田 佳世子

今期、イースト神戸クラブでは初めてのプログラム「My Room」を採用しています。これまでにない新しく楽しい企画はないか、との問いかけに、あるベテランメンバーが提案してくれました。演者は、与えられた20～30分の時間枠を自由に使って何でも好きなことをする、というのが My Room の大雑把な定義です。本当に自由でいいのです。ワークショップ、一人芝居、クイズ、はたまたワンマンリサイタル。とにかく企画から準備、司会、進行すべてを一人で、もちろんイースト神戸クラブは英語クラブなのですべて英語で行います。

9月例会での My Room は、ある外国の友人からの手紙をヒントに、メンバーそれぞれに一枚の絵を選ばせて即興でお話を作ってもらおうというゲームでした。トップバッターとして素晴らしいアイデアでした。11月例会では演者の今ある姿のルーツを垣間見るようなこれまでの活動の詳細や人々との関わりが報告され、メンバーには大いに刺激になりました。

まだまだ手探りで始まったばかりのプログラムですが、時間の配分やオーディエンスの引きつけ方、的確な誘導、簡潔な表現など、コミュニケーション技術と指導力の向上をめざす ITC にぴったりのプログラムではないのでしょうか。百聞は一見にしかず。皆さま「My Room 体験」に、是非イースト神戸クラブへ！

## 只今育み中・カウンスル No.3



### 「只今自己啓発育み中」— 30周年 —

第一副会長 西畠 敏子

今期カウンスル No.3 は、30周年の節目の年です。この年を迎えることが出来ますことを心より喜んでおります。そこで今期は、会長テーマ「温故知新—forever」に基づき30周年にふさわしいカウンスル活動を目指して努力しております。諸先輩方がこれまで培ってこられた伝統を大切にしながら、日々進化している今の時代にマッチした多くの技法や、変化しているコミュニケーションのスキルを得ようと会員一同、今まさに「育み中」です。特に「コミュニケーション」と「ホスピタリティー」はITCの基本ですので、それを身につけることができますように今より一歩でもと、楽しみながら自己啓発をしております。

今期最後の第三回会合（2011年6月29日 於ポートピアホテル）にて「カウンスル No.3 30周年記念会合」を行います。今私たちが育てている成果をより多くの方々にご覧いただければ幸いに存じます。

皆様のお越しをお待ち申しあげております。



### 「只今生き生き開花育み中」— 35周年 —

関西クラブ会長 長縄 智恵子

“育む”と掛けて“土壌の改良”と解く。その心は“関西クラブ花壇の花々を生き生きと”。今期関西クラブは35周年の節目を迎えました。チャーターメンバーの95才現役会員のご在籍を誇りに思っております。今年の春、お姉様会員から40周年は遠すぎるので、ゲストをお迎えして35周年の記念例会をお祝いしたいという声が上がりました。早速クラブ例会で討議の結果、チャーター月の2011年4月13日(水)にお祝いをすることに決まり、只今、一致団結して準備をしております。その為には、もう一度、先達の足跡をたどり、土壌の栄養素（コミュニケーションビタミン愛、ITCマスターマニュアル、ITC 議事法マニュアル）を研究し、加齢に反比例した“熱意”というエネルギーで、花壇の土壌を改良し、生き生きとした花を咲かせることを夢見ております。他人の目に、『あなたはいつもどうしてそんなに生き生きしているの』『実はね…私の秘密はITCにあり』と自信を持って答えられる会員の花々を35周年記念例会に向かって只今育み中です。

最後にお礼を一言「関西クラブの誕生にかかわり、会員を育ててくださった阪神クラブ先達会員と、今は天国にお住まいの関西クラブ会員に感謝いたします。」

## 只今育み中・カウンスル No.4



### 「心を育むコミュニケーション」

議会法規役員 石黒 慶子

今期、リージョンプログラム委員会から提案された「出前講座」。11月30日の締め切り日が終了してみると、出前講座に講師派遣依頼をしたクラブ数5件の内、カウンスルNo.4から、3クラブが依頼。それにしても、こんなにもクラブが要望していた事にも驚きました。

カウンスル No.4 は、岡山から九州・大分まで、細長い約600キロの中に11クラブがあります。広範囲に点在するクラブの会員は、遠距離のカウンスル会合に出席するのにも、なかなか苦勞があると思います。かつて、カウンスル No.4 にも出前講座に似た「サービスビューロー」という、人材派遣制度がありました。しかし、これは講師がそのクラブに派遣されるだけで、他クラブに声を掛けることはなかったのかもしれませんが。それも次第に消滅してしまいました。

そのような中での、「日本リージョン内の幅広い会員の中より人選を行い、要望のクラブに派遣する」という「出前講座」は新鮮な外からの風でもあり、井の中の「大海」でもあったのでしょうか。この事が、出来るだけ多くの会員・ゲストに声かけることで、少しでも会員の増員につながれば…と願います。カウンスル No.4 にとっては、良いタイミングで舞い降りてきた、リージョンの出前講座の力をお借りして、「聴き方」、「書き方」、「評価」など、確かな知性を育む事ももちろんですが、一人でも多くの会員やゲストの皆様と、「心を育むコミュニケーション」に力を入れていきたいと思ひます。



### PREM委員会 福山クラブ親睦会の活動

福山クラブ PREM 委員長 金子 三屋子

紅葉の美しい11月15日、福山クラブの新入会員8名が、ボードの役となり模擬例会を行いました。服部英子カウンスル No.4 会長参加のもと総勢18名での模擬例会となりました。お役に当たった会員は、会長が議事の進行、第一副会長が、例会プログラムとアジェンダの作成、書記は前月の議事録を参考にして議事録の作成など、それぞれ分担して協力してもらいました。ビジネスが終わり、一人ずつ感想を述べてもらいましたが、これからの例会に積極的に参加したい等、姿勢が違ってきたとの嬉しい感想もありました。お昼をはさみ、プログラムは【地域の活性化】というタイトルで尾道の桜茶会の活動をカウンスルNo.4 山本映子第二副会長に話してもらい、その後、お国自慢というテーマで、グルメ、旅、風景という3つのカテゴリーの中から、好きなジャンルを、言葉遊びのように順次話してもらいました。穏やかな中にも笑いあり、料理指導ありで楽しく進行いたしました。今日の話のリーダーは、入会1ヶ月の新会員で、用意した秋の花の花言葉のカードを渡し、全員が1分間スピーチを行いました。和気あいあいとした楽しい例会となり、「さわやかに」新しい風を求めてという今期のテーマに沿わせて、次の親睦会が新会員の期待を裏切らないような企画になるよう考えているこの頃です。

## 只今育み中・カウンスル No.5

会員委員長 船井 由美子

カウンスルの会員委員長として、心がけていることは、各クラブの会員委員長が中心となり、会員同士のコミュニケーションをはかり、クラブの雰囲気をよくすること。雰囲気がよいと例会に初めて参加された人は、きっと、「ITC に入会したい」と感じられると思います。たいへん地味な活動ですが、一番大切なことではないでしょうか。

そこで、雰囲気づくりの重要な役は、会員委員長だと思います。カウンスルの第二副会長になって、まもなくの頃、各クラブの会員委員長と連絡を取っていると会員委員長として、とても不安に感じられている方が多いことに気づきました。私自身も十分でないのですが、特に不安を感じられている方には、連絡を取り合い、自信に繋がるようにいたしました。そうするうちに私自身に少しずつ自信が出来てきたように思われました。

会員数が減少している中、カウンスル No.5 においては、今年の 1 月に新クラブ「眉山クラブ」が誕生いたしました。人口の少ない徳島で 3 クラブも出来ました。とても喜ばしいことです。各クラブを訪問し、交流を深め、自クラブの利点を見つけ、各クラブ、会員の成長に繋がってほしいものです。

### 「只今…人間関係…育み中…そして育まれ中」

眉山クラブ会長 平田 真弓

2009年10月9日我がクラブが ITC で正式に認証された日です。あれから1年余り。ITC 用語もままならぬヨチヨチ歩きの会員ばかりです。殆ど横のつながりがありませんでしたので、まずは会員同士の人間関係を築く事から始めました。プログラムには会員参加型を多く取り入れました。模擬例会やアサーショントレーニング等、出演者は事前の打ち合わせを通してお互いをよく知ると共に、ITC には欠かせないコミュニケーション能力を身につけていきます。それだけではなく、「エッ？あの方がすごい演技！」と、思わぬ発見にお腹を抱えて笑う事しばしば。こうしてクラブ運営の基礎・土台となる豊かな人間関係を育み中です。

また本来なら教育されなければならない内容が多いのですがあえて会員に勉強をしてもらい、「教育」にも挑戦。プログラム作り、配布物作成等、重複会員が手を差し伸べれば簡単ですが、荒削りながらあえて会員に作成してもらいます。他クラブからの総評で、沢山アドバイスを頂き、指摘を受け、そして気づき、刺激を受け…、こうして立派な ITC 会員となるように育まれ中です。

2 期目に入り思う事は、何事も体験！体験は知識を確実に身につけ、感動をもたらします。また集団での学びは自然と連帯感を伴います。体験を通じて育まれる資質や能力の向上アップに期待すると共に、眉山クラブの一員として育み中！

## 只今育み中・カウンスル No.6

### PREM 委員会主催：会員交流親睦会「雛の会」

PREM委員長 本儀 協子

今期カウンスル No.6 PREM 委員会は、新しい試みとして会員活性化に少しでも役立つように、会員とゲストを対象としたいつもの会合とは一味違った会員交流親睦会「雛の会」を2011年2月28日(月) 京都リーガロイヤルホテルに於いて開催いたします。

今回のプログラムは、毎日を楽しく有意義に、健康に、そして美しく過ごせる様に講師を招いて「健康で美しい女性のためのウォーキングセミナー」を企画いたしました。歩き方のポイント、正しい姿勢の4つのポイント等を実践を交えて学びます。健康的で美しいITC女性を目指して！

また、ITCを理解し、コミュニケーションを図り、ITCの良さを知って頂けるように友人、知人に声を掛け、一人でも多くの方々に参加をして頂けるように会員が協力してカウンスル No.6の活性化を願っています。皆さまも是非ご参加ください。



### 北陸の小京都一日本列島ここが真ん中：金沢クラブ 只今 育み中

金沢クラブ 小嶋 千賀子

訳あって一年間、賜暇会員でした。

しかし、クラブはもちろんリージョンやカウンスルからのメールもいつも通り全て届き、議事録を読めば、まるでその場にいたかのように会の様子が伝わり、心がITCから離れることがなかったので、とても気楽に例会にもどることができました。

これは、クラブのPREM委員会の「会員を増やすことはもちろんですが、今いる会員を退会に追い込まず、会員を全員繋ぎとめていく」という方針の下、会員一人一人に対する気配りと努力があったからです。

また、プログラムでも、シリーズ化したものを織り込み、お客様や特に他クラブの方を繋ぎとめる工夫もしております。お陰で「前に参加した時おもしろかったから」「あの続きを聞きたいわ」とリピーターが増えました。

一度も参加したことがない他クラブの皆様、頑張っている金沢クラブにぜひ遊びにいらして下さい。

## 只今育み中・カウンスル No.7

第23期会長 井上 寿子

今年年間テーマ「時代に即応して—Let's try Communication—」を掲げ第1回会合を終えました。今年目標の一つ、会員数の増強と会員間の Communication の円滑化に取り組み育み中です。とっとり砂丘クラブはクラブ間交流のトップを飾りました。米子クラブは会員増強プロジェクトによる映画上映会を試みました。いずれも多くのお客様の参加で、会は成功に終わりましたが、11月末現在での新入会員はない状況です。一方カウンスル No.7 全体では、7名の新入会員と2名の退会者の報告を受けました。

期首から“会員一人ひとりが会員増強を自分の事として考え、会員維持と増強に繋がることをできる事から始めて行きたい、そして、カウンスルではその活動を推進する”の方向で続けております。これまでの反省としては会員が自分の事として出来ることから始めて頂き7名の会員獲得に繋がっています。が、カウンスルのその活動の推進は育み中です。

クラブ間交流への会員相互の理解度は参加者の増加に比例し、より良い Communication は会員増強に繋がると確信致します。では、カウンスル No.7 の生みの親でもあり、多くの事を教えていただいている鳥取クラブからの育みをご紹介します。



### 鳥取クラブ「只今育み中」

鳥取クラブ会長 田中 英子

鳥取クラブは今年第30期を迎え、30年目会員と1年目会員30名が仲良くともに学んでいます。期の初めに時間をかけたのは常任委員会の構成でした。比較的経験の浅い会員を委員長に配置、経験ある会員をその委員会に配して、委員長には委員会の使命とリーダーシップを学んでいただき、経験ある会員にはさりげない助言で委員長を補佐していただきたいと熟慮しました。

先日、1年目会員4名が所属する会則・決議委員会が某委員のお宅で開かれ私も出席しました。委員会の終盤に計画されていたのはクラブ会則を読むことでした。委員長のリードで、順を追って会則を読み疑問があれば意見交換をし、新会員から次々と質問が飛び出し、先輩会員は自分の知識で解説、時にはエピソードを交えた楽しい思い出話になり和やかな温かい雰囲気が流れていました。新会員は ITC 用語に触れ、会則の主旨を理解できて「楽しかった」と次回委員会を楽しみにしている様子が伺えました。

会則・決議委員会をはじめ、どの委員会も順風満帆、只今委員長は輝いています。

鳥取クラブでは、今年目標の一つに「ともに育む」を掲げています。会員の共通意識として先ず、お互いを思いやる気持ちを何より大切にしています。この前提が無ければどんな立派な言葉も相手の心に届かず「育む」事は不可能だと考えるからです。

これからも小さな思いやりを積み重ねながら、お互いに育み合って参ります。

## 只今育み中・カウンスル No.8



### 「只今育み中 — パワートークの種」

会長 小菅 あけみ SC, Fellow of ITC

今期は、パワートークショートコースのトレーナー5人の協力を得て、クラブの外に向かったPRに力を入れています。12クラブ全部が、必ず1回は、例会プログラムにショートコースを計画しました。その他、前年度の外部向けショートコースの同窓会もバイリンガルで続いています。ここに今年度初め8月に行なわれた、外に向けたPR活動をご紹介します。



### 「只今育み中 — 彩玉クラブから地域社会への発信」

彩玉クラブ会長 瀧澤 孝子

常にアンテナ高く、団結力の強い、興味津々の彩玉クラブのメンバーは、例会時に紹介されて参加を提案された「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム（NWE C）」と言う国立教育会館主催のワークショップにPREM活動の一環として、早速「賛成」の声が上がり、6月21日の第1回特別委員会からフォーラム参加の8月28日まで、提案者の権田貴久子と永井眞澄委員長を中心に暑い中、慎重にかつ大胆に委員会を開催、当日に臨みました。

タイトルは「リーダーシップ養成にコミュニケーション力を」と題して、プログラムの内容は

- ① ITCの概要説明
- ② カウンスルNo.8トレーナー斉木ゆかりさん（横浜クラブ）のトレーナーとしてのスピーチ
- ③ コミュニケーション技術について彩玉クラブ会員が発表
- ④ リーダーシップの養成についてのワークショップは各地域の参加者が発表、プリントを配布
- ⑤ サイコロを使って会員と参加者の1分間スピーチ

1の目：日常生活で男女共同参画を感じるとき

4の目：面白い話

2の目：恥ずかしかった話

5の目：得したこと

3の目：嬉しかったこと

6の目：驚いたこと

サイコロスピーチに参加された方が、どうして沖縄にITCがないのですか？と嬉しい質問も。

勿論、ITCディビジョンⅣの世界地図、日本リージョンの日本地図には我が「彩玉クラブ」を記入し、写真やチラシも用意して、前日の交流会ではITCの宣伝もぬかりありません。

当日は、リハーサルの効果もばっちり全国の行政機関やNPOのリーダー達45名が楽しくワークショップに参加でき、クラブのメンバーは細い肩をいからし、大きな目を細めて喜び合うことができました。やはり、ITCは素晴らしいクラブだと一同再確認できました。

アンケートの結果、入会したい意向の方は大勢いらっしゃいましたが、全国規模のフォーラム故、遠くの方も多く未だ直接入会に繋がらないのは本当に残念です。しかし、日本一暑い熊谷の地で熱く活動しているITCと言う組織があり、日本全国に向かって活動している事がアピールできたと自負しております。ご参加下さいましたITCの方々にお礼申し上げます。

## ROSTER 変更と訂正 (役職など) ・お知らせ

リージョン PREM 委員		長石 啓子 (鳥取)
No.1 錦クラブ	第一副会長	岡島 詠子
	第二副会長	杉山 純恵
	書記	山本 弘子
	会計	小島美知子
	議会法規役員	堀内 迪子
No.2 御影クラブ	書記	角田 亘子

### カウンスル No.8 第2回カウンスル例会日時・会場変更

2011年4月3日(日) 10:30~16:00 スピーチコンテスト  
東京ウイメンズプラザ ホール TEL 03-5467-1711

カウンスル No.8 アクア千葉クラブ 会長テーマ:「happy,Happy-SMILE」

## 心に響く こ・と・ば

「時の商人」

その商人は時を売っていた

「いらっしゃいませ!時はいかがでしょうか?」

ある女は1週間買った

1週間買ったその女は、それを海外旅行に使った

「10年ほしいのだがね」

ある老人は聞いた

「10年だと少し値がはりますが・・・」

「かまわん」

10年買った老人は、それを病気の妻に譲った

## 編集後記

表紙の丸、皆様は何をイメージなさいましたか?位置を変えて自由に紙面で遊ばせました。イメージしたものをお知らせください。特別寄稿に反響が大きいのは、うれしい限りです。皆様のご感想をお待ちしております。

編集者:松本 敬(豊中)

スタッフ:大谷差智子(神戸)・鶴山紀子(甲南)・平井典子(豊中)

会長テーマ字:三橋山房 書

ITC日本リージョン会報 Vol.29/No.2  
編集・発行:第29期 ITC日本リージョン  
印刷:上野タイプ印刷(株)



## ITC Pledge

### ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナルトレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2010-2011

### ITC日本リージョン声明文

#### *Mission Statement of Japan Region*

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.